

あいおいニッセイ同和損保

防災って、大切な家族を守ること。



大地震や豪雨など、日本は全ての地域が高い確率で「災害」と隣り合わせにあります。そのなかで、犬や猫を始めとするペットが「家族」として存在し、(ペットの防災)についても話題に上がることが増えてきました。今回はドッグトレーナーと防災士の資格をお持ちの松本秀樹さんに、注意点を教えていただきました。大切な家族を守ること...それが一番大事なことであると考えます。

茨城県キャンプ協会 リリーアカデミーキャンプセンター

防災って、サバイバルの応用。



焚火やロープワーク体験などを実施しました。焚火では野外調理を実践しました。災害現場では炊き出しなどを余儀なくされるので、身近にある空き缶350ccでご飯1合を炊きました。遊びでも使えるロープワークでは簡単な結びでも絶対に解けない結び方を実践しました。その他、火おこし体験やテント設置も行いました。大勢の家族がキャンプの技を防災や災害時に応用するコツを学びました。

防災コミュニティネットワーク

防災って、命を守る準備のこと。



地震体験車の目的は震度7などの大きな揺れがどの程度の揺れなのかを確認いただき、その揺れが本来にあってしまったらどうなるのか想像いただく体験です。地震が来たら倒れてこない落ちてこない場所にすぐに移動しますが、移動できるのはほんの数メートルです。家の中の避難場所を考えておきましょう。また、老朽化した家だと倒壊するかもしれません。家の耐震化をお勧めします。

日本赤十字社茨城県支部

防災って、チカラ。



日本赤十字社は「ACTION」(防災・減災)のスローガンのもと、災害に対して、皆様と共に備える活動を行っています。災害時に逃げ遅れの原因にもなってしまう「正常性バイアス」「同調性バイアス」という言葉を聞いたことがありますか？これが避難の遅れにどう影響するか分かります。伝える動画を日本赤十字社の特設サイトで公開中です。ぜひご覧ください。

水戸市消防局

防災って、予測・備え・訓練。



煙ハウスと消火器の体験を実施しました。煙ハウスはテント内に人体に無害な煙を充満させたものです。火災時の煙の怖さと避難方法を疑似体験できます。避難の際は姿勢を低くして、煙を吸わないよう口鼻をハンカチなどで覆います。視界が悪い時は壁面に沿って移動しましょう。消火器は壁面に投入します。正しい使い方を覚えると初期消火に有効です。定期的な訓練と設置場所の確認が大切です。

Dr. ナダレンジャー

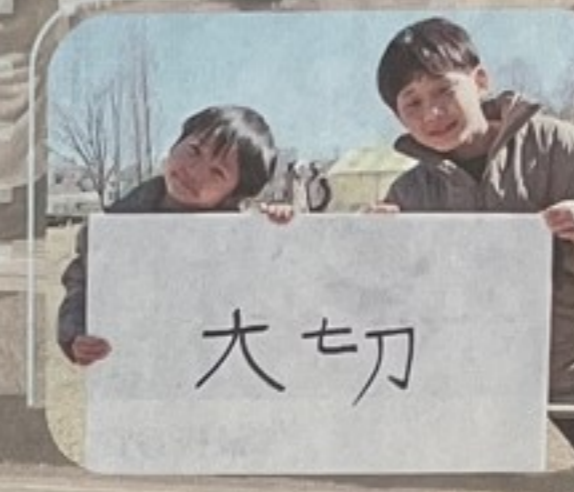
防災って、まずは自然を知ること。



本当はこわい災害を、楽しく学ぶことによって、災害の起こっていない日常生活の中でも、自然災害に興味をもつきっかけになればと考えます。災害はこわくても、それを引き起こす自然現象の科学は多くの人の興味を惹きます。その上で、どうすればいいかは、自分で勉強して考え、自分で行動する力をつけることが大切です。日常が災害によって、いつでも、一瞬にして非日常になるという想像力を身につけましょう。

# プレイバック 家族で体験! BOSAI キャンプ

【問】次の空欄に言葉を当てはめてください。  
防災って、□□□□□□。



東日本大震災から12年。小学生は「3.11」の現実を知らない。防災意識を未来につなげたい。「家族で体験! BOSAI キャンプ」が19日、水戸市の千波公園ハナミズキ広場で開催され、小学生親子ら600人が集まりました。参加者は地震車で震度7の揺れ、煙が充満したテントで避難方法を疑似体験。サイエンスショーで液化現象を学び、災害の怖さに触れました。そして、もしもの時に役立つキャンプの技に挑戦。便利なロープの結び方や火の起こし方などを楽しく習得しました。体験後、防災意識が高まった皆さんに問いかけてみました。「防災って何ですか?」。大切な人と防災について考えてみてください。

- 主催 茨城新聞社、日本赤十字社茨城県支部
- 後援 茨城県、茨城県教育委員会、水戸市、(公財)茨城県消防協会、(一社)水戸観光コンベンション協会
- 特別協賛 あいおいニッセイ同和損保、あいおいニッセイ同和損保茨城支店プロ会、あいおいニッセイ同和損保茨城南支店プロ会
- 協力 茨城県キャンプ協会リリーアカデミーキャンプセンター、水戸市消防局、防災コミュニティネットワーク